

令和7年度 小野市当初予算 事業説明資料

資料番号	事業名	担当課
資料 1	妊婦健診助成の拡充	健康増進課
資料 2	学童保育の拡充 (学童保育専用施設の建設)	子育て支援課
資料 3	新幼稚園の整備	教育総務課
資料 4	教育環境の整備推進(バリアフリー化、空調更新、インターホン整備、LED化)	教育総務課
資料 5	学校体育館の空調整備	教育総務課
資料 6	旭丘中学校体育館の改築	教育総務課
資料 7	河合中学校の長寿命化改良	教育総務課
資料 8	救急電話相談(#7119)体制の整備	健康増進課
資料 9	帯状疱疹予防接種助成	健康増進課
資料 10	防災・減災対策の推進 (災害用移動式トイレ導入、資機材整備)	防災 G
資料 11	消防団員の処遇改善	消防総務課
資料 12	図書館東側区域 新市街地開発事業	まちづくり課
資料 13	浄谷黒川丘陵地の利活用推進	プロジェクト推進 G
資料 14	新都市南北線の整備	道路河川課
資料 15	新ごみ処理施設の整備	環境政策 G

妊婦健診助成の拡充

3,440 万円

1. 事業概要

小野市では、お母さんと赤ちゃんの健康を守り、安心して出産ができるように、妊婦健康診査費用助成券を交付し、健診にかかる費用の助成を行っています。

令和7年度からは妊娠期間中の経済的負担をさらに軽減するため、助成額を拡充します。

2. 事業内容

①妊婦健康診査費用にかかる助成額を **10万円から12万円へ**拡充します。

また、基本券・補助券方式(※)を廃止し、より使いやすい助成券に変更します。

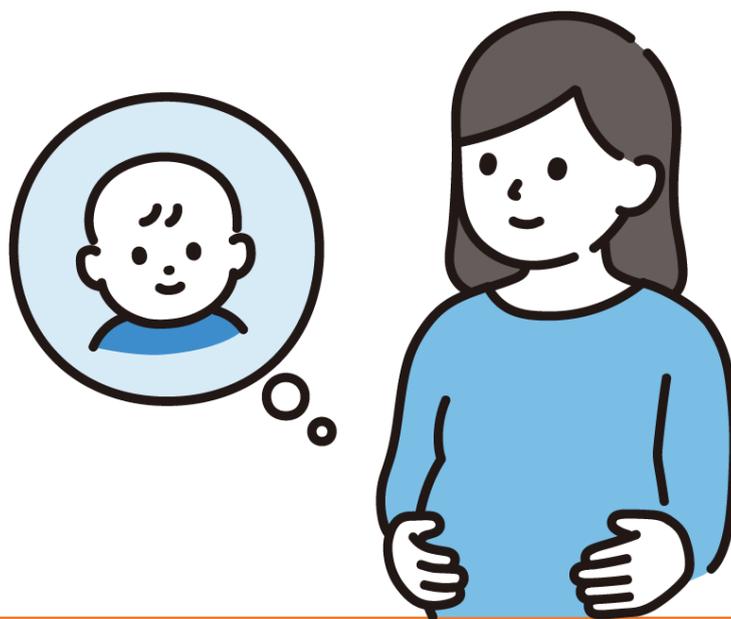
②新規事業として、**多胎妊娠された妊婦の方を対象に、妊婦健康診査費用助成券2万5,000円(5,000円×5回)分を追加交付**します。

(※)基本券・補助券方式:補助券は、基本券とともに何枚でも使用できますが、補助券のみでは使用できません。

令和7年度新規発行分からは、券の区分がなくなり、金額の異なる助成券を自由に組み合わせて使用することができます。

3. 制度変更時期

令和7年4月1日から



お問い合わせ先:健康増進課 ☎0794-63-3977

学童保育の拡充

(学童保育専用施設の建設)

5,500 万円

1. 事業概要

小野東小学校の学童保育(アフタースクール)は現在、学校の空き教室を活用し、計100名定員(1クラス50名×2クラス)で運営していますが、昨今の学童保育ニーズの高まりから待機児童が発生しています。

そのため、令和7年度に小野東小学校敷地内に新たに学童保育専用施設(1クラス50名程度)を建設し、待機児童の解消を図ります。

2. 事業内容

- ・事業費:5,500万円
※1棟建築工事費、実施設計・監理費、受益者負担金等含む
- ・専用教室概要:平屋建(延床面積 約100㎡)
- ・工期(予定)
 - 令和7年6月～9月 実施設計
 - 令和7年10月～令和8年2月 建築工事
 - 令和8年3月 開設準備
 - 令和8年4月～ 供用開始



お問い合わせ先:子育て支援課 ☎0794-63-1645

新幼稚園の整備

4億9,900万円

※3月補正前倒し分

4億8,300万円含む

1. 事業概要

人口減少に伴い園児が減少する中、市民ニーズに対応し、時代に即応した効率的な幼稚園運営を実施するため、「わか松幼稚園」と「小野東幼稚園」を統合再編した新たな幼稚園「おの幼稚園」の整備を進めています。

令和8年4月に開園する「おの幼稚園」では、小野市教育行政顧問である東北大学・川島隆太教授の『脳科学理論』に基づいた“幼児教育の実践”の場として、隣接する小野小学校との連携(幼小連携)や親子の愛着形成を図る取り組みを強化するとともに、魅力ある屋外教育環境を整備します。

2. 事業内容

○新幼稚園の建築概要

- ・敷地面積：4,608 m²
- ・延床面積：1,096 m²
- ・階 層：1階



○スケジュール

- ・令和4年度 耐震診断、基本設計
- ・令和5年度 実施設計、小野東幼稚園職員室等改修
- ・令和6～7年度 新幼稚園園舎建築工事
- ・令和7年度 周辺整備工事(駐車場等)
- ・令和8年4月 開園

○総事業費

5億6,200万円

(うち令和6年度3月補正 4億8,300万円、令和7年度 1,600万円)

○補助事業

「公立学校施設整備国庫補助事業」を活用

お問い合わせ先:教育総務課 ☎0794-63-1015

教育環境の整備推進

(バリアフリー化、空調更新、インターホン整備、LED化)

3億8,260万円

※3月補正前倒し分

2億9,200万円含む

1. 事業概要

令和5年度から実施している学校施設のバリアフリー化と空調設備更新工事を引き続き推進するとともに、教室にインターホンが設置されていない学校に対し、アナフィラキシー発生や不審者侵入等の緊急事態発生時に備えるため、インターホンを整備します。

また、学習環境の向上(明るさアップ)と省エネ化を図るため、学校照明のLED化に着手し、安全・安心かつ快適な施設環境の確保、教育環境の質的向上を図ります。

2. 事業内容

<①バリアフリー化(エレベーター設置)>

対象校：市場小(工事)、大部小(設計)

事業費：7,760万円



小野小学校のエレベーター(R6.10月設置)

<②空調設備(エアコン)更新工事>

対象校：小野小、小野中(工事)

小野東小(設計)

事業費：2億5,900万円



<③インターホン整備>

対象校：小野小、河合小、市場小、大部小、
中番小、下東条小、小野中(工事)

事業費：4,000万円



<④学校照明LED化>

対象校：来住小、下東条小(設計)

事業費：600万円



※①は緊急防災・減災事業債、②～④は「公立学校施設整備国庫補助事業」を活用

お問い合わせ先：教育総務課 ☎0794-63-1015

学校体育館の空調整備

4 億 1,700 万円

1. 事業概要

夏場の猛暑下における、児童・生徒の体調管理や熱中症対策、また災害時の避難所の環境改善のため、小中学校の体育館に空調設備を整備します。

近年、7・8月における猛暑日の増加に加え、9月に入っても猛暑日が続く、全国で児童・生徒が熱中症で緊急搬送される事例が相次いでおり、熱中症対策が喫緊の課題となっています。

また、市内全ての学校が災害時の地域防災拠点の避難所に指定されていることから、防災機能の強化のため、全ての学校体育館に空調設備を導入します。

2. 事業内容

小学校8校、中学校3校、特別支援学校1校の計12校に「大風量スポットエアコン」を整備します。

※体育館の建替に伴い整備する旭丘中学校を除く

事業費：4 億 1,700 万円

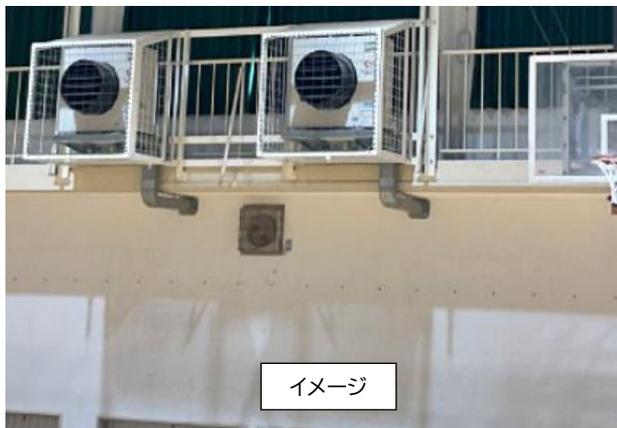
※財源は緊急防災・減災事業債を活用します。

工期：設計 令和6年12月～令和7年9月

(予定) 工事 令和7年5月～令和8年2月

※部活動で体育館を使用する中学校から優先して工事を実施。

令和7年8月以降、工事が完了した学校から順次空調の使用を開始します。



お問い合わせ先:教育総務課 ☎0794-63-1015

旭丘中学校体育館の改築

9 億 2,700 万円

※3月補正前倒し分3億 1,300 万円、
債務負担行為分5億 6,400 万円含む

1. 事業概要

令和6年11月に長寿命化改良工事が完了した校舎に引き続き、築50年以上が経過し、老朽化の進行が顕著な旭丘中学校体育館の建替工事に着手します。

当該体育館は他の中学校体育館と比べ、面積が一回り小さく、老朽化により長寿命化改良に適さないことから、建て替えを行います。新しい体育館には十分な広さのアリーナを整備し、災害発生時の避難所としての機能強化のため、空調設備を導入します。

2. 事業内容

○旭丘中学校体育館の建築概要

- ・構造：RC造(屋根S造)
- ・階層：地上2階
- ・延床面積：1,454 m²(建替え前:852m²)
 - 1階 アリーナ、ステージ、トイレ、体育・備品倉庫
 - 2階 卓球室、多目的室
- ・工期：令和7年8月～令和8年10月

○総事業費

9億 4,000 万円（うち令和6年度3月補正 3 億1,300 万円、令和7年度 5,000 万円、債務負担行為分5億 6,400 万円）

○補助事業

「公立学校施設整備国庫補助事業」を活用



お問い合わせ先:教育総務課 ☎0794-63-1015

河合中学校の長寿命化改良

4 億円

※債務負担行為分

3億4,000万円含む

1. 事業概要

昭和46年に建築された河合中学校の校舎は、築53年が経過し経年劣化による老朽化が進んでいます。建物は激しく傷み、壁面や基礎など至る所にクラックがみられ、設備や機能の劣化も散見されることから、小野南中学校、旭丘中学校に引き続き、長寿命化改良を実施します。

長寿命化改良事業により、物理的な不具合の修正や建物の耐久性、機能、性能を引き上げる改修を行うことで、安全安心な施設環境の確保、教育環境の質的向上を図ります。

2. 事業内容

<長寿命化対象の建物概要>

- ・校舎 教室棟、特別教室棟及び管理教室棟
延床面積 3,939 m²
- ・体育館 延床面積 1,145 m²

<事業期間> (予定)

- 校舎：令和7年度～令和9年度
- 体育館：令和8年度～令和10年度

<スケジュール> (予定)

- ・令和7年度 設計(校舎)
- ・令和8年度 仮設校舎、校舎工事Ⅰ期、設計(体育館)
- ・令和9年度 校舎工事Ⅱ期、体育館工事Ⅰ期
- ・令和10年度 体育館工事Ⅱ期

<総事業費>

23億円(うち令和7年度 6,000万円、
債務負担行為分3億4,000万円))



長寿命化に着手する河合中学校の現況

お問い合わせ先:教育総務課 ☎0794-63-1015

救急電話相談(#7119)体制の整備

170 万円

1. 事業概要

高齢化の進展等による救急需要の増大や救急医療の担い手不足等が課題となる中、救急出動件数は全国的に増加傾向にあります。救急車の適正利用を推進するため、県域で実施される「救急安心センター(#7119)」事業に参画し、救急電話相談体制を整備します。

2. 事業内容

『#7119』とは、「夜中に熱が下がらない」、「お腹が痛い」など、急な病気やケガで今すぐ診てもらえる病院が分からない時や、救急車を呼ぼうか迷った時に電話し、看護師等の専門家に相談することができる救急相談ダイヤルです。

【対応時間】 24 時間 365 日

【対象年齢】 全年齢層

病院へ行く？
救急車を呼ぶ？ **迷ったら…**

7 1 1 9

緊急だと思ったら、ためらわずに119番通報を!!



お問い合わせ先:健康増進課 ☎0794-63-3977

带状疱疹予防接種助成

2,570万円

1. 事業概要

厚生労働省において、令和7年度から带状疱疹ワクチンを定期接種(B類疾病)に含める方針決定がなされました。

小野市では、国基準よりも対象者を拡大し、**令和7年度から5年間、65歳以上の全ての方を対象**に带状疱疹予防接種費用の一部助成を行います。

※国基準の対象者:㊦65歳

㊦70、75、80、85、90、95、100歳

(令和7～11年の経過措置の間に上記年齢になる人)

㊧101歳以上(令和7年度のみ)

2. 事業内容

【対象者】①**65歳以上**の市民(年度末年齢)

②60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する市民(接種時年齢)

(※)過去に带状疱疹予防接種を受けたことがある方は対象外。

【助成回数】対象ワクチンはどちらか1種類のみ

対象ワクチン	生ワクチン	不活化ワクチン
接種費用	8,700円程度	21,000円程度/回
接種・助成回数	1回	2回
助成金額	4,700円程度	11,000円程度/回
自己負担	4,000円	10,000円/回

【助成方法】対象の方に対して、令和7年4月下旬頃に接種券を送付します。

【実施機関】協力医療機関等で接種

㊦小野市・加東市医師会協力医療機関での接種

接種券を提示すると、医療機関窓口で接種費用から助成額を差し引いた上記自己負担額が請求されます。

㊧小野市・加東市医師会協力医療機関以外での接種

事前申請いただき、後日市が発行した接種依頼書を持参すると、医療機関窓口で接種費用から助成額を差し引いた上記自己負担額が請求されます。

お問い合わせ先:健康増進課 ☎0794-63-3977

防災・減災対策の推進 (災害用移動式トイレ導入、資機材整備)

4,300 万円

1. 事業概要

避難所の生活環境や衛生環境の保持、並びに、被災者のストレス軽減、精神的身体的健康を維持するため、「災害用移動式トイレ導入」と「備蓄資機材整備の充実」を図ります。防災・減災対策を「見える化」することで、災害対応の基本である、自分の身は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」といった市民の防災意識のより一層の向上を図ります。

2. 事業内容

【災害用移動式トイレ導入】

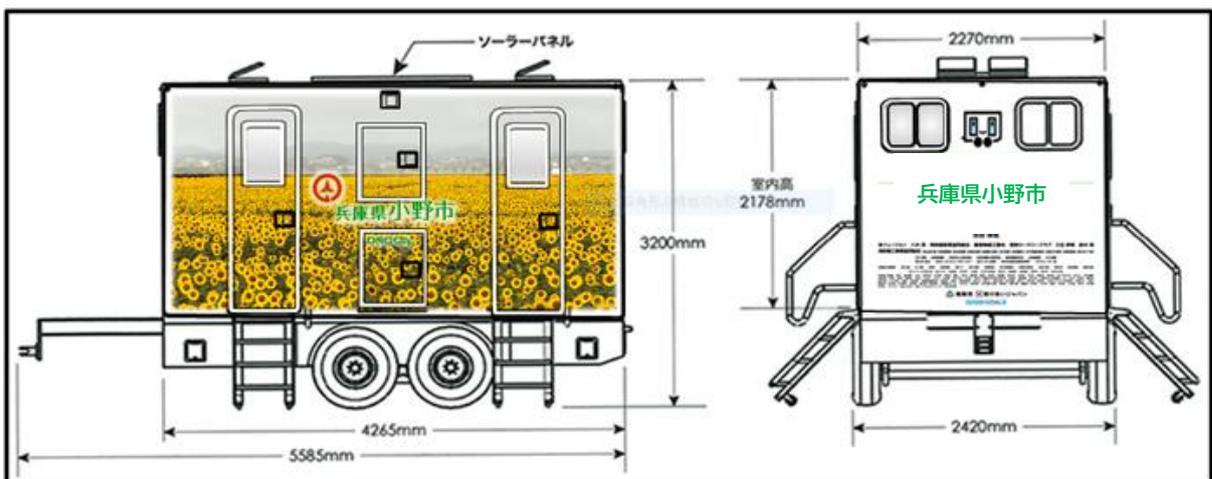
- ・災害用移動式トイレ一式 3,190 万円
- ・トイレ資機材(トイレトーパー、洗浄液、清掃用具等) 110 万円

※小野市初の試みとしてクラウドファンディング等による資金調達を行います。

【備蓄資機材整備】

- ・TKB備蓄資機材(T・トイレ、K・キッチン、B・ベッド) 1,000 万円
(簡易トイレ、携帯トイレ、炊出しセット、簡易ベッド、段ボールベッドなど)

3. 災害用移動式トイレデザインイメージ



※災害用移動式トイレ両側面に市をイメージしたラッピングを施し、背面にクラウドファンディング等による寄附者名掲載を予定しています。

お問い合わせ先:防災グループ ☎0794-63-3387

消防団員の処遇改善

500万円

1. 事業概要

災害の激甚化・多様化に伴い、消防団員の負担は増加しています。地域における消防・防災の中核的存在である消防団員の処遇改善として、訓練報酬を創設し、市が指定する対象訓練に参加した団員に、1回あたり2,000円の訓練報酬を追加支給します。

2. 事業内容

【年間参加者数】 2,500人

【訓練参加報酬】 2,000円/回/人

【年間予算】 2,000円×2,500人=500万円

【市が指定する訓練】

- ・ 総合訓練
- ・ 消防大会
- ・ 各分団消防操法・錬成会
- ・ 消防署・消防団合同水防訓練
- ・ 市消防操法・錬成会
- ・ 夏季消防訓練
- ・ 地域教育防災訓練
- ・ 秋季消防訓練
- ・ 文化財防火訓練

3. 事業効果

処遇改善により団員の士気が向上するとともに、団員家族の理解、協力が得られることが期待され、団員の更なる確保を推進します。



▲「文化財防火訓練」



▲合同水防訓練

お問い合わせ先: 消防本部総務課 ☎0794-63-4633

図書館東側区域 新市街地開発事業

5,300 万円

※債務負担行為 1,800 万円含む

1. 事業概要

図書館東側の農地約 3.6ha において、官民連携で新たな商業地等を形成する宅地開発を計画しており、開発手法は土地区画整理事業を予定しています。令和8年中の事業認可取得に向けて、関係機関協議・基本設計・想定換地・測量等を実施するとともに認可申請に必要な事業計画書等を作成します。

2. 事業内容

土地区画整理事業認可図書作成等業務委託

【業務委託内容】

権利調査、基本設計、各種測量、事業計画書等作成、
不動産鑑定、想定換地 等

3. スケジュール(今後の予定)

年度	市	民間事業者
R7	市街化区域編入手続 事業計画作成(2 年) ← 連携 →	地権者合意形成、企業誘致
R8	事業者への技術的支援 (土地区画整理法第 75 条関係)	土地区画整理事業認可取得 仮換地指定
R9		造成工事
R10		商業施設等の建築工事



お問い合わせ先: まちづくり課 ☎0794-63-1884

浄谷黒川丘陵地の利活用推進

1,000 万円

1. 事業概要

今後の「東播磨道」の全面開通や、山陽三木 SA に設置する「(仮称)三木スマートインターチェンジ」の完成、市道「新都市南北線」北工区の完成に伴い、小野市域の土地利用ポテンシャルが一層高まっています。それに加え、国内回帰に伴う企業立地需要の高まりによる全国的な産業用地不足に対応すべく、令和 6 年度は「浄谷黒川丘陵地」の一部を産業用地に転換する新たな土地利用構想を策定しています。

令和 7 年度は、産業用地整備計画の更なる推進を図るため、「浄谷黒川丘陵地」を含めた市内未利用地の産業適地調査を行うとともに、企業アンケートや企業訪問を行い、市場動向や小野市への進出意欲の調査を行います。

2. 事業内容

- ・適地選定調査及び企業ニーズ調査
- ・企業訪問等営業活動

3. 令和8年度以降の事業スケジュール（令和7年度の調査により変更の可能性あり）

- ・基本計画調査
- ・分筆測量業務
- ・サウンディング調査



▲浄谷黒川丘陵地土地利用基本構想 パース

お問い合わせ先:プロジェクト推進グループ ☎0794-63-1404

新都市南北線の整備

1億 8,100 万円

※3月補正前倒し分
1億 7,700 万円含む

1. 事業概要

令和7年に開通予定の「東播磨道」の接続により、国道175号「市場東交差点」付近の更なる渋滞が見込まれることから、国道175号の補完道路として「新都市南北線」の整備を進め、周辺道路の渋滞緩和と交通ネットワークの強化を図ります。

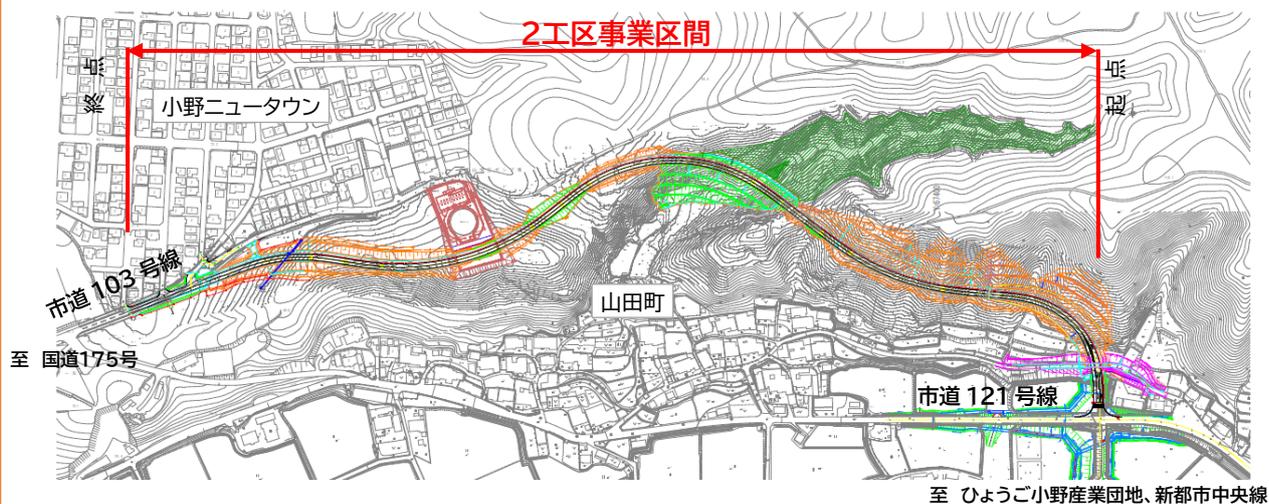
本道路は、「小野工業団地」と国道175号を繋ぐ「新都市中央線」から、「ひょうご小野産業団地」を經由し小野ニュータウン(天神町)の市道103号線を結びます。

令和4年4月に1工区が開通し、引き続き整備を進めていた2工区も、いよいよ令和7年度に開通を予定しています。

- ・1工区：1,766m(新都市中央線～市道121号線) 令和4年4月開通
- ・2工区：1,175m(市道121号線～市道103号線) 令和7年度開通予定

2. 事業内容

工 事：2工区 L=1,175m 道路改良、舗装工



小野ニュータウン側(市道103号線)



山田町側(市道121号線)



お問い合わせ先：道路河川課 ☎0794-63-1008

新ごみ処理施設の整備

3,100 万円

1. 事業概要

現在の「小野クリーンセンター」は、平成元年4月の供用開始から36年が経過。

将来にわたって安定的・効率的にごみ処理を行うため、小野市・加東市・加西市の3市が連携し、「地域に親しまれ、開かれた施設」という基本理念のもと、新たなごみ処理施設の整備を進めます。

新施設は、「小野希望の丘陸上競技場アレオ」隣接地に建設する予定です。ごみの焼却熱を利用した温水プールや災害時にはごみを集積する芝生広場などの附帯施設も併せて整備し、令和17年の供用開始に向けた事業が本格的に始動します。



▲建設予定地(アレオ東側)

2. 事業内容

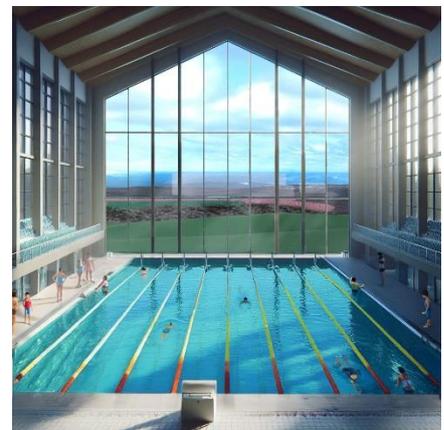
環境省の「循環型社会形成推進交付金」を活用し、下記の事業を行います。

- ・施設整備基本計画の策定
- ・PFI等導入可能性調査
- ・地形測量
- ・地質調査 など

※予算額は、小野加東加西環境施設事務組合の事業費(1億800万円)のうち、小野市の負担金額。



▲施設イメージ



▲ごみの焼却熱を利用した温水プール

お問い合わせ先:環境政策グループ ☎0794-63-1216